

【小学校】

日々学び続けること
～インタビュー形式で～

—早速ですが、教員としてのやりがいや魅力について、どのように考えておられるのかを教えてください。

はい。児童生徒が日々の学習の中で一步一步着実に成長していく姿に寄り添えることが一番の魅力なのではないかと考えます。

—なるほど。子どもたちの成長に寄り添うことができる、ご自身の指導によって成長を促すことができる、というところに魅力を感じているんですね

はい。そしてもう一つ、教員ならではの研修の機会の充実も、大きな魅力の一つであると考えます。

—それは教員に限らず、多くの仕事で得られる機会なのではありませんか。

もちろん、研修は教員だけのものではありません。ですが、教師の姿は最大の教育環境であるという言葉にある通り、教員は常に学び続ける姿を子どもたちに示すべきであると考えます。その学びの対象は、教材研究や教育技術の向上はもちろん、生き方や自分にとっての興味関心も含まれるのではないかと考えるのです。

—生き方やご自身の興味関心、という部分をもう少し詳しく教えてください。

はい。もう二十年も前のことです。秋田県教育委員会が、チャレンジ研修という教員の他業種体験プログラムを設けたことがありました。その頃はまだコンピュータネットワークが十分に機能しているとは言えず、校内のネットワークインフラ整備は各校や各自治体教育委員会の裁量によるところが大でした。校内で（当時はそんな名称はまだありませんでしたが）ICT部門を担当していた私は、株式会社わらび座内にあった特定非営利活動法人きたうら花ねっとに、ネットワーク構築の基礎を学ぶべく応募し3週間の研修を受ける機会を得ました。大学卒業後はずっと小学校での業務だけを経験してきた自分にとって、民間企業での働き方、利益追求や社会貢献についての考え方に触れることができたことは今でも掛け替えのない思い出となっています。

—なるほど。教員としての身分で民間企業への就業体験ができたんですね。

他にも、幼小連携プログラムの一環として、2日間保育園での業務を経験する機会を得ました。小学校では上級生にお世話されてばかりいる印象の1年生ですが、それより年下の保育園の年長児が、自分より年下の年中・年少の児童のお世話を進んでいる姿を目にして驚きました。周りからお世話されることに慣れてしまっている1年生より

も、園内で最も年上の存在であるからと頼りにされる年長クラスの園児たちの方がぐんと頼もしく感じたのです。子どもたちへの意識のもたせ方の大切さを知りました。

—貴重な経験ですね。学校の中にいるだけでは気付くことのできない学びがたくさんあったということなのですね。

加えてもう一例、お話しさせてください。私は令和2年度に秋田県総合教育センター研修員として1年間を過ごすことができました。自分の課題解決のための文献講読や教材研究の時間を十分に設定していただけたことで、普段の学校勤務では満足に研修出来なかったであろうプログラミング教育や一人一台タブレット端末の配備に向けての対応を熱心に学ぶことができたのです。教員としての研修の機会が確保されているからこそその一年間であったことに深く感謝しています。

—子どもたちの成長に寄り添うことができるという魅力、自身のスキルアップを図ることができるという魅力の2点について、ご自身の体験を基にしたお話をしてくださり、ありがとうございました。

教員の仕事には以前はこうだった、といった経験則だけでは解決出来ない課題や新たに解決すべき困難に直面することが幾つもあります。それでも、自己研鑽し続ける喜びは他の業種に勝る魅力であると考えます。誰かの役に立ちたい、その上で出来れば自分自身もずっと学び続けたい、と考える人にはベストな職業であると胸を張ってお勧めできます。今日はありがとうございました。